

福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋カバー  
解体等に伴う大気モニタリングの強化について

平成27年5月19日  
福島県放射線監視室

県では、原子力発電所周辺地域への放射性物質の影響を迅速に把握するため、発電所周辺に設置しているモニタリングポスト（36地点）等により空間線量率の上昇の有無を常時監視してきたところであります。

これらに加え、平成25年8月に3号機建屋のガレキ撤去作業に伴い、周辺の線量が上昇が発生したことなどから、平成26年度中に発電所周辺地域の16箇所リアルタイムでダストを計測できる機器を整備し、飛来する放射性物質を迅速に検知する機能を強化しました。

また、平成27年度も、整備に向けて検討を進めております。

これらにより、空間線量率やダスト濃度を常時監視するとともに、専用のホームページを設け、カバー解体の作業内容やモニタリングの結果について情報提供しているところであり、また、楢葉町駐在職員や廃炉安全監視協議会等により作業の取組状況を確認するなど、1号機原子炉建屋

カバー解体等の廃炉作業をこれまで以上に厳しく監視してまいります。

## (別紙1) リアルタイムダストモニタ等の整備について

### 1 リアルタイムダストモニタ装置の追加

大気浮遊じんを吸引してろ紙に捕集すると同時に $\alpha$ 放射能及び $\beta$ 放射能を測定する装置（5地点）を追加整備しました。

なお、この測定値は環境放射能監視テレメータシステムで確認することができます。

MP No.	第一原発からの距離	地点の名称
19	南西 4km	大熊町向畑
22	西南西 5km	大熊町大野
24	西北西 4km	双葉町山田
27	北西 6km	双葉町上羽鳥
26	北北西 4km	双葉町新山

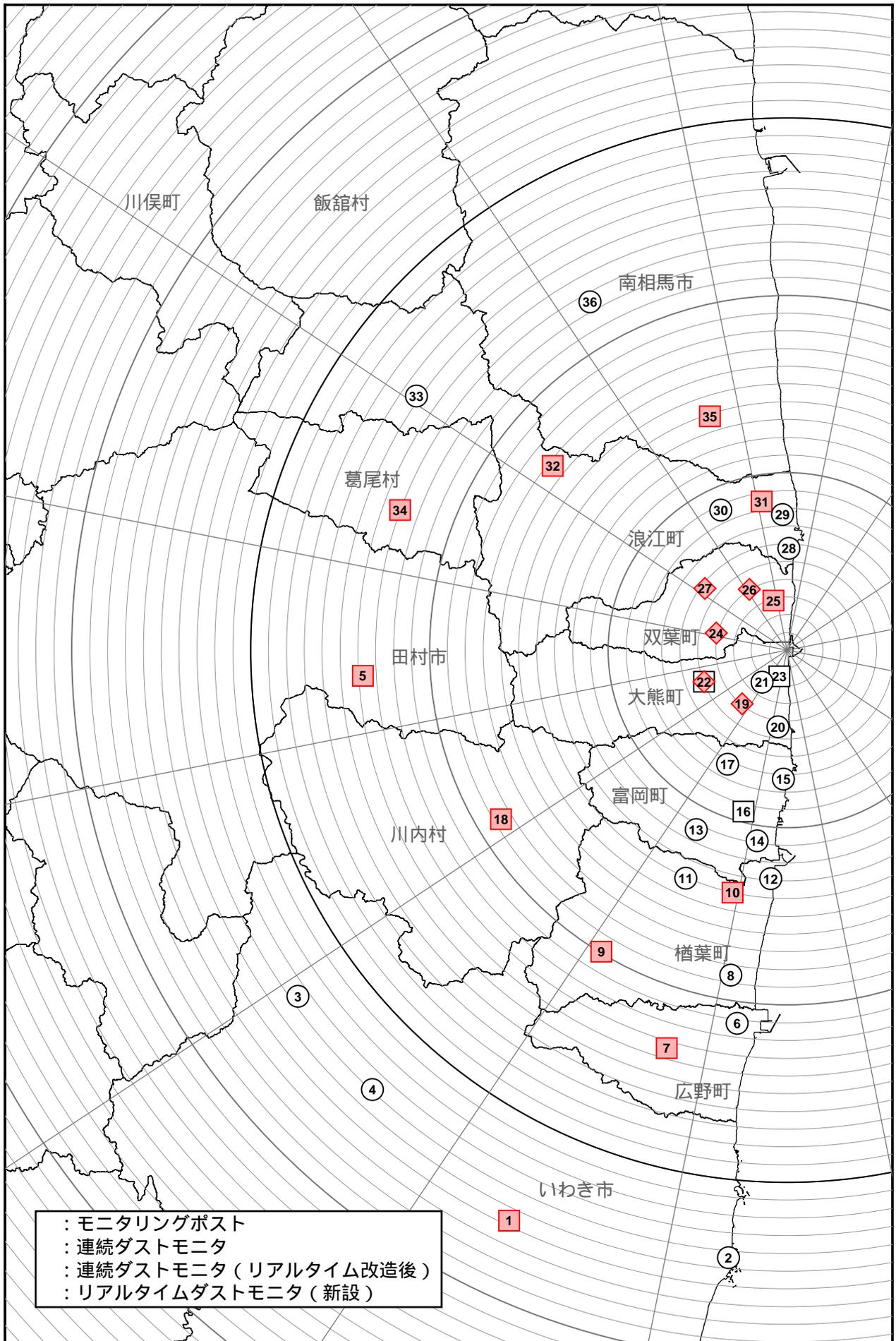


### 2 既設ダストモニタのリアルタイム機能追加及びリアルタイム機能付加ダストモニタの新設

大気浮遊じんを6時間吸引してろ紙に捕集した後、自然由来の放射能の減衰を待つため6時間放置してから $\alpha$ 放射能及び $\beta$ 放射能を測定している既設のダストモニタを、上記1同様、ろ紙に捕集と同時に測定できるよう改造を行いました（新設は両機能を備えたもの）。

MP No.	第一原発からの距離	地点の名称
1	南南西 36km	いわき市小川
7	南南西 23km	広野町小滝平
9	南南西 20km	檜葉町木戸ダム
10	南南西 14km	檜葉町繁岡
18	西南西 19km	川内村下川内
5	西 24km	田村市都路馬洗戸
34	西北西 23km	葛尾村夏湯
32	北西 17km	浪江町大柿ダム
25	北北西 3km	双葉町郡山
35	北北西 14km	南相馬市泉沢
31	北 8km	浪江町幾世橋（新設）

(別紙2) 発電所周辺地域モニタリングポスト位置図



- : モニタリングポスト
- : 連続ダストモニタ
- ◇ : 連続ダストモニタ (リアルタイム改造後)
- ◻ : リアルタイムダストモニタ (新設)